

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場会社名 株式会社 トランスジェニック  
 コード番号 2342 URL <http://www.transgenic.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部 部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

(氏名) 佐藤 道太  
 (氏名) 中川 隆生

TEL 078-306-0590

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	196	—	△530	—	△518	—	△527	—
20年3月期第3四半期	214	△31.7	△527	—	△539	—	△524	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△4,836.42	—
20年3月期第3四半期	△4,808.94	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円		%	円 銭
21年3月期第3四半期	2,356	2,215	93.5	20,196.64			
20年3月期	2,899	2,730	94.1	25,014.38			

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 2,202百万円 20年3月期 2,728百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	360	8.2	△459	—	△478	—	△484	—	△4,443.38

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 109,075株 20年3月期 109,075株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 14株 20年3月期 14株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 109,061株 20年3月期第3四半期 109,061株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1 上記に記載した当期の業績予想につきましては、現時点で、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に関する仮定を前提としており、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

2 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、深刻化した世界金融危機の影響を受け、企業収益は大幅に減少し、雇用環境はさらに悪化するなど、景気後退の様相をますます強めてまいりました。

当社グループが事業を展開するライフサイエンス業界におきましては、主要顧客である国内製薬企業の海外企業買収などの動きは活発である一方、国内での研究開発投資への取り組みは慎重なものとなっております。大学および公的研究機関においても特定の研究開発テーマへの予算配分は拡大しておりますが、全体的には予算執行を絞り込む傾向はますます強くなってきております。

このような状況の下、当社グループは、製薬企業や大学等の研究機関に対し、新薬開発の探索や基盤研究に有用な遺伝情報、受託サービス及び基礎研究用試薬を提供してまいりました。また、当社グループが進めている抗体を用いた新たな診断方法の研究開発の取り組みのうち、国立がんセンターとの新規腫瘍がんマーカーに対する抗体ならびにその診断応用に関する共同研究が、平成20年10月に特許出願のステージに進展いたしました。

海外バイオ企業の研究用試薬を国内の研究現場へ提供する試薬販売サービスにつきましては、Protein Tech社製品の国内での独占販売を開始するなど取扱ラインアップを拡充し、販売拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の当社グループの売上高は196,842千円（前年同期214,170千円）となりました。売上総利益は、84,672千円（同92,518千円）となりました。販売費及び一般管理費は、経常的な費用についてはコストコントロールに努めましたが、新抗体製品開発を当初計画より前倒して実施したことや、試薬販売サービスにかかるウェブサイト作成費用、広告宣伝費および販売代理店権利金等を一時費用として計上した結果、615,233千円（同620,255千円）となり、損益については営業損失530,560千円（同527,736千円）、経常損失518,486千円（同539,747千円）、四半期純損失527,465千円（同524,468千円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 遺伝子破壊マウス事業

積極的な営業活動の結果、受注実績は第3四半期に入り前年同期と比較して増加に転じましたが、第2四半期までの厳しい受注環境の影響を受け、売上高は82,030千円（前年同期126,478千円）となりました。損益面では運営体制の効率化を図り、営業損失は58,793千円（同113,735千円）と改善いたしました。

#### ② 抗体事業

抗体製品や受託サービスの受注が好調であったことから、売上高は63,061千円（前年同期48,787千円）となりましたが、新抗体製品開発を当初計画より前倒しに実施したことにより研究開発費が増加し、営業損失は41,790千円（同19,091千円）となりました。

#### ③ 試薬販売事業

第1四半期連結会計期間より試薬販売事業の全セグメントに占める割合が高くなったため、試薬販売事業を「その他事業」から分離し、売上高は39,956千円となりました。損益面では販売にかかるウェブサイト作成費用、広告宣伝費および販売代理店権利金等などの一時的な費用を計上した結果、営業損失は67,807千円となりました。

#### ④ その他事業

生殖工技術研修サービス、海外バイオ企業の国内代理店業務等により売上高11,793千円、営業損失6,524千円となりました。

※「連結経営成績に関する定性的情報」における前年同期比較に関する情報は、参考として記載しております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末（平成20年12月31日）は、流動資産1,724,966千円（前連結会計年度末比22.2%減）、固定資産631,838千円（同7.4%減）、流動負債135,640千円（同14.7%減）、固定負債5,993千円（同37.5%減）、純資産合計2,215,171千円（同18.9%減）となり、総資産は2,356,804千円（同18.7%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純損失525,368千円（前年同期519,715千円）、未払金の減少27,079千円（前年同3,959千円）などにより、営業活動によるキャッシュ・フローは△495,098千円（前年同期△449,746千円）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

資金運用を目的とした定期預金の満期による払戻600,000千円などにより、投資活動によるキャッシュ・フローは616,376千円（前年同期892,929千円）となりました。

以上の結果、当第3四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ121,014千円増加し、1,617,605千円となりました。

※「連結財政状態に関する定性的情報」における前年同期比較に関する情報は、参考として記載しております。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループが事業領域とするライフサイエンス業界は、選別と絞り込みによる厳しい環境にあります。当社グループは引き続き抗体新製品のラインアップ拡充や創薬関連サービスの一層の拡充を図るなど、収益獲得機会の拡大に努めてまいります。

当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては前年同期を下回る結果となりましたが、積極的な営業活動が奏功し受注実績は増加に転じており、今後とも収益確保に向け全社一丸となって取り組んでまいります。

業績予想につきましては、前回予想（平成20年5月15日発表）より変更ございません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① 簡便な会計処理

該当事項はありません。

##### ② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### ① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

##### ② 重要な資産の評価基準および評価方法の変更

たな卸資産

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ7,923千円増加しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	417,605	2,096,591
受取手形及び売掛金	47,459	64,437
有価証券	1,200,000	—
商品	3,124	7,095
仕掛品	7,275	9,192
貯蔵品	7,042	11,837
その他	42,523	27,887
貸倒引当金	△65	△68
流動資産合計	1,724,966	2,216,972
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	459,317	459,317
減価償却累計額	△115,013	△97,552
建物及び構築物(純額)	344,303	361,764
その他	324,436	324,436
減価償却累計額	△324,436	△324,436
その他(純額)	—	—
有形固定資産合計	344,303	361,764
無形固定資産		
のれん	190,308	198,542
その他	—	1,476
無形固定資産合計	190,308	200,019
投資その他の資産		
その他	97,698	121,171
貸倒引当金	△472	△472
投資その他の資産合計	97,226	120,699
固定資産合計	631,838	682,483
資産合計	2,356,804	2,899,456

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,134	1,387
未払金	79,026	106,840
未払法人税等	6,511	11,253
引当金	4,237	—
その他	40,730	39,568
流動負債合計	135,640	159,050
固定負債		
長期リース資産減損勘定	5,993	9,586
固定負債合計	5,993	9,586
負債合計	141,633	168,636
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,855,225	4,855,225
利益剰余金	△2,650,777	△2,123,312
自己株式	△1,782	△1,782
株主資本合計	2,202,665	2,730,130
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△2,037
評価・換算差額等合計	—	△2,037
新株予約権	10,698	—
少数株主持分	1,807	2,726
純資産合計	2,215,171	2,730,819
負債純資産合計	2,356,804	2,899,456

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	196,842
売上原価	112,169
売上総利益	84,672
販売費及び一般管理費	615,233
営業損失(△)	△530,560
営業外収益	
受取利息	10,043
為替差益	2,754
その他	620
営業外収益合計	13,417
営業外費用	
投資事業組合運用損	880
持分法による投資損失	462
その他	1
営業外費用合計	1,344
経常損失(△)	△518,486
特別損失	
固定資産売却損	2,658
投資有価証券売却損	2,067
投資有価証券評価損	2,155
特別損失合計	6,881
税金等調整前四半期純損失(△)	△525,368
法人税、住民税及び事業税	3,015
法人税等合計	3,015
少数株主損失(△)	△918
四半期純損失(△)	△527,465

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△525,368
減価償却費	17,535
のれん償却額	8,234
株式報酬費用	10,698
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3
受取利息及び受取配当金	△10,043
為替差損益 (△は益)	263
持分法による投資損益 (△は益)	462
固定資産売却損益 (△は益)	2,658
投資有価証券売却損益 (△は益)	2,067
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,155
売上債権の増減額 (△は増加)	16,978
たな卸資産の増減額 (△は増加)	10,682
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,746
未払金の増減額 (△は減少)	△27,079
その他の資産の増減額 (△は増加)	△11,571
その他の負債の増減額 (△は減少)	△1,146
小計	△499,729
利息及び配当金の受取額	9,436
法人税等の支払額	△4,805
営業活動によるキャッシュ・フロー	△495,098
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の払戻による収入	600,000
有形固定資産の取得による支出	△700
無形固定資産の取得による支出	△1,255
投資有価証券の売却による収入	18,810
貸付金の回収による収入	897
その他	△1,376
投資活動によるキャッシュ・フロー	616,376
現金及び現金同等物に係る換算差額	△263
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	121,014
現金及び現金同等物の期首残高	1,496,591
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,617,605

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	遺伝子破壊 マウス事業 (千円)	抗体事業 (千円)	試薬販売 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	82,030	63,061	39,956	11,793	196,842	—	196,842
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	82,030	63,061	39,956	11,793	196,842	—	196,842
営業損失(△)	△58,793	△41,790	△67,807	△6,524	△174,915	△355,645	△530,560

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分については、サービス及び製品の種類を考慮して分類しております。

2. 各事業に属する主要サービス及び製品の内容

事業区分	主要サービス及び製品
遺伝子破壊マウス事業	遺伝子破壊マウス作製及び当該マウスにかかる遺伝子機能情報等の提供
抗体事業	抗体の開発、製造及び販売
試薬販売事業	試薬の仕入、販売
その他事業	生殖工学技術研修等

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

3ページ「4. その他(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業損失は、遺伝子破壊マウス事業で7,923千円増加しております。

4. 事業区分の方法の変更

事業区分の変更については、従来、サービス及び製品の種類を考慮して3区分としておりましたが、第1四半期連結会計期間より、従来「その他事業」に含めて表示しておりました試薬販売事業の全セグメントに占める割合が高くなったため、試薬販売事業をその他事業から分離することといたしました。

この結果、従来の方法に比較して当第3四半期連結累計期間の売上高は、試薬販売事業が39,956千円増加し、その他事業が39,956千円減少しております。また、営業損失は、試薬販売事業が67,807千円増加し、その他事業が67,807千円減少しております。

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る財務諸表

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間 (平成19年4月1日～12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期第3四半期)
区分	金額 (千円)
I 売上高	214,170
II 売上原価	121,652
売上総利益	92,518
III 販売費及び一般管理費	620,255
営業損失	527,736
IV 営業外収益	
1 受取利息	10,998
2 補助金収入	888
3 その他	1,382
営業外収益	13,269
V 営業外費用	
1 支払利息	184
2 持分法による投資損失	24,666
3 その他	428
営業外費用	25,280
経常損失	539,747
VI 特別利益	
1 持分変動損益	20,032
特別利益	20,032
税金等調整前四半期純損失	519,715
法人税、住民税及び事業税	4,961
少数株主損失	208
四半期純損失	524,468

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期第3四半期)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失	△519,715
減価償却費	57,649
のれん償却額	8,234
貸倒引当金の増減額(減少:△)	△23
受取利息及び受取配当金	△10,998
支払利息	184
持分法による投資損益(益:△)	24,666
持分変動損益(益:△)	△20,032
売上債権の増減額(増加:△)	15,900
たな卸資産の増減額(増加:△)	1,792
未払金の増減額(減少:△)	△3,959
その他資産の増減額(増加:△)	11,323
その他負債の増減額(減少:△)	△18,625
小計	△453,599
利息及び配当金の受取額	10,976
法人税等の支払額	△7,122
営業活動によるキャッシュ・フロー	△449,746
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の払戻による収入	20,030
有価証券の償還による収入	900,000
有形固定資産の取得による支出	△19,554
無形固定資産の取得による支出	△2,065
投資有価証券の取得による支出	△4,280
その他	△1,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	892,929
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(減:△)	△80,000
長期借入金の返済による支出	△134,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214,000
<b>IV 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)</b>	229,183
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	1,971,965
<b>VI 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	2,201,148

## (3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

	遺伝子破壊 マウス事業 (千円)	抗体事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	126,478	48,787	38,904	214,170	—	214,170
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	126,478	48,787	38,904	214,170	—	214,170
営業費用	240,214	67,878	59,855	367,947	373,959	741,907
営業損失	113,735	19,091	20,950	153,777	373,959	527,736

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分については、サービス及び製品の種類を考慮して分類しております。

2. 各事業に属する主要サービス及び製品の内容

事業区分	主要サービス及び製品
遺伝子破壊マウス事業	遺伝子破壊マウス作製及び当該マウスにかかる遺伝子機能情報等の提供
抗体事業	抗体の開発、製造及び販売
その他事業	動物飼育管理受託、試薬販売等

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。